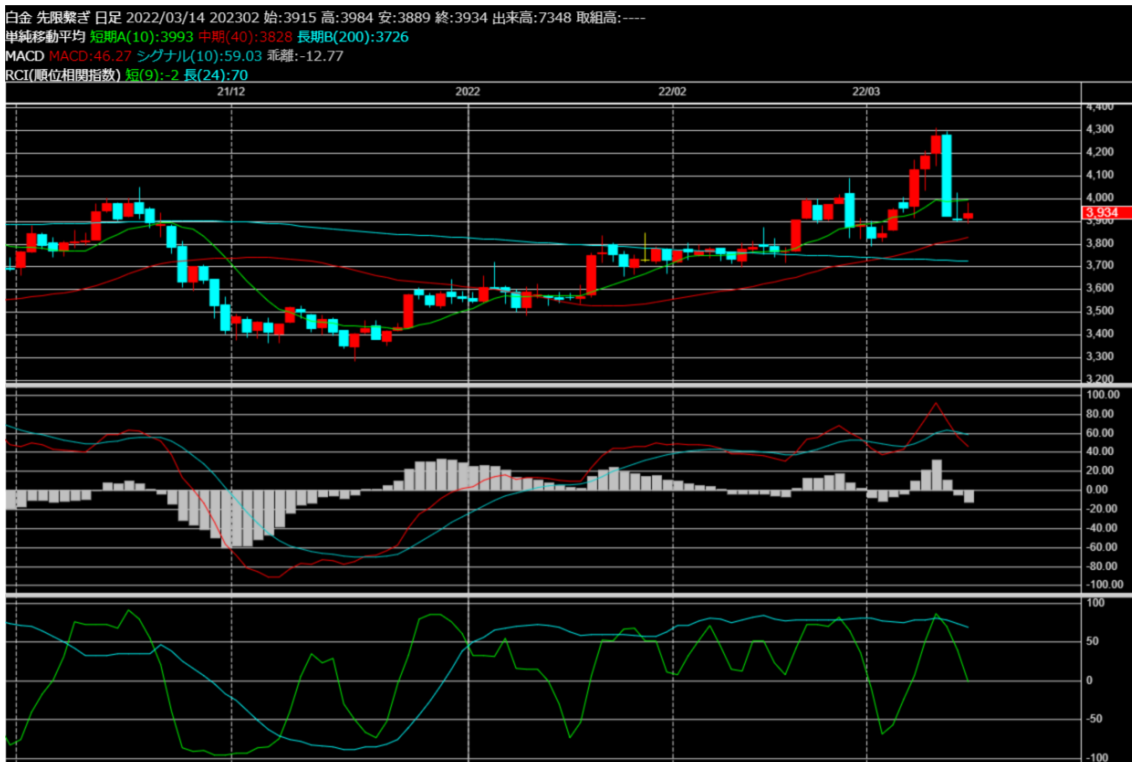


＜白金標準先物、21 世紀の輸送手段の停止で代替期待・・・＞



(出所：オアシス)

WPIC は 2021 年第 4 四半期プラチナ需給報告を発表し、2021 年のプラチナ需給バランスの 38 トンの供給過剰から 2022 年は 47%減少した 20 トンの供給過剰と予想している。ただロシア軍のウクライナ侵攻で発生する障害は今回の統計には反映していないことから、WPIC では「ロシアからのパラジウムの供給が停止する早期の兆候があり、プラチナ需要が増加する可能性がある」と付け加えている。

特に EU や英国のロシア産の原油や天然ガスの輸入削減処置は、脱炭素計画の 2030 年の期限を前倒しするため、EU 各国の国内設備投資の加速を生み、脱炭素の代表格でもある水素社会の構築が加速する事に結び付く事からも、燃料電池に欠かせないプラチナは需要増が期待できる。

また欧米の上空をロシア機の飛行禁止空域と発表し、ロシア政府も同様な処置をロシア空域に設定するなど 21 世紀の輸送手段が絶たれており、パラジウムの供給障害は自動車触媒におけるプラチナの代替が加速する要因でもある。そのため今年後半には 4524 円を超える可能性は高まると予想される。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** を下回り弱気のコスを示している。また RCI でも **短期**が下げながら、**長期**も切り下げだすなど、高値が止まった動きを見せている。そのため目先は **40 日移動平均線**が位置する 3800 円へ向けた調整に注意したい。ただ 4000 円を超えると高値追いに変わらると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,097,000 円(2022 年 3 月 14 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 3 月 14 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>